

内閣総理大臣 安倍晋三 殿
外務大臣 河野太郎 殿

抗議文

2018年2月8日
原水爆禁止大阪府協議会 常任理事会

安倍首相と河野外務大臣は、米国トランプ政権が打ち出した「核態勢見直し」(NPR)について全面的にこれを歓迎し、2月3日河野外務大臣は、「高く評価する」との談話を発表した。

「核態勢の見直し」(NPR)は、核兵器のない世界を願う国際世論に逆行し、小型の核開発で核兵器使用の可能性を広げて世界の平和と安全を脅かすものであり、通常兵器にも対応するという内容である。

にも関わらず、これを支持しトランプ政権に追従する安倍内閣の態度に耳を疑い、これが被爆国政府の談話かと唾然とする。

私たちは、政府の被爆国にあるまじき対応に強く抗議する。

そして広島、長崎の惨禍を経験した国民を代表する外務大臣として不適格である河野太郎大臣の即時辞任を求める。

日本政府が、トランプ政権の「見直し」(NPR)を支持することは、核兵器の使用を前提としたアメリカの「核抑止力」に依存する危険な姿を内外に示したことに他ならない。

我々は、被爆国の政府として、核兵器のいかなる使用も認めず、アメリカの危険な「核の傘」から離脱するよう強く要求する。

そして昨年成立した核兵器禁止条約に直ちに署名し、批准することを求める。

日本政府は「核兵器のない世界」の実現に向けて、あらゆる機会に世界中に働きかけ被爆国の責務を果たすことを重ねて強く要求する。

以上